

木の実こども園の教育・保育に関する自己評価（令和6年度分）

令和6年度の当園の自己評価の平均は下記の通りです。

木の実こども園

評価項目	評価基準	評 価			
		十分に達成している。	達成している。	取組が不十分である。	ほとんど取組がでない。
園児の指導に関すること	指導計画	1 年齢に応じた園児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。	3.7		
		2 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教師間で話し合い、次の指導計画に活かしている。	3.5		
		3 職員会議の際に、互いに考えを十分に理解し合った上で、指導計画を作成している。	3.5		
	環境の構成	4 園児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。	3.4		
		5 自然の変化や生物の生育などを通して環境ととらえ、保育に活かす配慮をしている。	3.1		
		6 園児の実際の行動に合わせ、環境に配慮する指導をしている。	4		
	保育方法展開	7 個々の園児の特性を理解し、クラスの園児同士の関係を的確に把握している。	3.9		
		8 園児の行動を温かい態度で受け止めることによって、園児の緊張、不安を解消するよう努力している。	4.5		
		9 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。	4.3		
		10 園児と共に活動することを心から楽しむことができる。	4.5		
		11 園児と共感し、満足感や心の安定を園児に与えている。	4		
		12 活動の中で、最善の判断、思いやりの気持ちなど、適切な言葉と行動で示している。	4.3		
		13 園児個々に応じた適切な援助を行っている。	3.8		
学級経営その他に関すること	学級経営	14 個々の園児をクラスの一員として大切にするとともに、園児同士がお互いを大切にするクラス運営を行っている。	4.3		
		15 施設設備の安全管理、園児への安全指導が万全である。	3.8		
		16 個々の園児を大切にしたクラス経営がなされている。	4.4		
		17 保育室やホール等の環境が整理・整頓され、清潔で安全に留意されたものであるように努めている。	3.9		
	保護者への対応	18 家庭との連携が緊密で、個々の園児について入園前後や、家庭での生活の様子も把握し保育に活かしている。	3.9		
		19 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に活かすとともに子育ての相談相手となっている。	3.2		
		20 事故、問題が起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。	3.7		
		21 園での園児の様子を園便り等で定期的に伝えるなど、家庭との連携を図っている。	3.2		
		22 問題行動やけが等が生じた場合に、個人面談をするなど、その解決や処理に迅速に対応している。	3.4		

●全体平均—3.8